

事務連絡  
平成30年4月20日

会員各位

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会  
会長 宮島喜文  
公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会  
会長 中町祐司

平成30年度 日本臨床衛生検査技師会、兵庫県臨床検査技師会主催

「第2回認知症対応力向上講習会B」開催案内

会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、日臨技では平成27年に厚生労働省より公開された「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」が目指す戦略目標に呼応すべく、認知症診断に欠かせない神経心理学的検査をより多くの臨床検査技師が担当できるようになることを目指し、「臨床検査技師のための認知症対応力向上講習会事業」を推し進めています。当会では平成30年2月に「第1回認知症対応力向上講習会B」を開催し、この度、「第2回認知症対応力向上講習会B」を下記のとおり開催することとなりました。

つきましては、趣旨をご理解いただき、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

記

開催日： 1日目・・・平成30年7月21日（土）13：00（12：30受付開始）～18：00  
2日目・・・平成30年7月22日（日）9：00～15：00

※第2回では、1日目に認知症の基本講義を入れた2日間開催となります

場所： 兵臨技研修センター

兵庫県神戸市中央区八幡通4丁目1-38（東洋ビル4F）

事前申込み制： 定員30名（定員になり次第締め切り）

内容： 別紙1をご参照ください

申込方法： 別紙2の『第2回認知症対応力向上講習会B 申込み書』に必要事項を記入し、FAXまたはE-mailに申込み書を添付して、件名を「**認知症対応力向上講習会申込み**」とし、申込み先まで送ってください。

講習会受講料： 4,000円（当日、受付にて徴収）

申込み期限： 平成30年6月15日（金）

申込み先： （公社）兵庫県臨床検査技師会 事務所 **E-mail** : [info@hamt.or.jp](mailto:info@hamt.or.jp)

**FAX** : (078) 271-0256

【問合せ先】 兵庫県臨床検査技師会 担当 渡辺 浩志

市立加西病院 中央検査科

TEL (0790) 42-2200

## 【 臨床検査技師のための認知症対応力向上講習会事業について 】

### 《本講習会事業の目的》

平成 27 年 1 月 27 日に厚生労働省老健局より公開された「認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～（新オレンジプラン）」において、本戦略の策定は“いわゆる団塊の世代が 75 歳以上となる 2025（平成 37）年を目指し、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会を実現”することにあるとし、“2017（平成 29）年度末等を当面の目標設定年度”としている。

同戦略の「第 2. 具体的な施策」において、早期診断・早期対応のための体制整備として、認知症疾患医療センターの機能の明確化、認知症疾患医療センター以外の医療機関での鑑別診断が求められているとともに、認知症初期集中支援チームの設置により早期に認知症の鑑別診断が行われ、速やかに適切な医療・介護等が受けられる初期の対応体制の構築、同チームが認知症専門医の指導の下で複数の専門職が、認知症が疑われる人又は認知症の人やその家族を訪問・観察・評価、包括的・集中的な初期支援すべきことなどがあげられている。

認知症の人の身体合併症等への対応を行う急性期病院等では、身体合併症への早期対応と認知症への適切な対応のバランスのとれた対応が求められているが、現実には、認知症の人の個別性に合わせたゆとりある対応が後回しにされ、身体合併症への対応は行われても、認知症の症状が急速に悪化してしまうような事例も見られる。身体合併症対応等を行う医療機関での認知症への対応力の向上を図る観点から、関係団体による研修も積極的に活用しながら、一般病院勤務の医療従事者に対する認知症対応力向上研修の受講を進めるとしている。

我々臨床検査技師は、早期診断、早期対応に欠かせない検査の実務を担当しており、急性期病院から一般病院、さらにはかかりつけ医となる診療所を含めて広く勤務している。日臨技の認定センターでは、新オレンジプランが目指す戦略目標に呼応すべく、日本認知症予防学会の協力を得て、平成 26 年度内に「認定認知症領域検査技師制度」を構築した。3 回の認定試験を経て平成 29 年 4 月時点で 126 名（兵庫県 11 名）の認定技師が誕生している。

同戦略の中には、交通安全の確保として、個人の運転能力の評価に応じた高齢運転者に対する交通安全教育などを実施し、また、幅の広い歩道等やバリアフリー対応型の信号機を整備し、道路標識・道路標示の高輝度化、標示板の大型化の推進、公共交通の充実など高齢歩行者や高齢運転者の交通安全を確保する、とされており、平成 29 年春には道路交通法の改正により高齢者免許更新時の認知症診断の義務化などが盛り込まれているものの、社会問題化している高齢者運転事故の多発に対し、認知症診断体制の確保も喫緊の課題となっていると見受けられる。

本講習会事業では、認知症診断に欠かせない神経心理学的検査をより多くの臨床検査技師が担当できるようになることを目指しており、上述の諸課題に直結した「臨床検査技師のための認知症対応力向上」として位置付けるものである。

日臨技が主催する企画担当者講習会（講習 A）と、講習 A の修了者が日臨技の同一職能関連団体である都道府県臨床（衛生）検査技師会との共催で都道府県単位に開催する講習会 B で本事業は構成されている。

《内容》

1. 受講資格

- ①日本臨床衛生検査技師会会員であること（必須）
- ②兵庫県臨床検査技師会会員であること（必須）
- ③検体採取等に関する厚生労働省指定講習会を修了していること（必須）
- ④「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」の修了者であることが望ましい

2. スケジュール

1日目：平成 30年 7月 21日(土)			
12:30	～	13:00	受付
13:00	～	14:00	基調講演 「認知症の病態と検査・治療について」 兵庫医科大学 内科学 神経・脳卒中科 臨床教授 武田 正中 先生
14:00	～	14:10	休憩
14:10	～	14:20	本事業の意義と目的 <b>Video</b> 日臨技 深澤 恵治執行理事
14:20	～	15:20	神経心理学的検査総論 ～認知症疾患医療センター、物忘れ外来、認知症 スクリーニングで主に活用される検査～ <b>Video</b> 国立長寿医療研究センター もの忘れセンター長 櫻井 孝 先生
15:20	～	15:30	休憩
15:30	～	16:30	MMSE・HDS-R・物忘れ相談プログラム検査総論 <b>Video</b> 鳥取大学医学部 教授 日本認知症予防学会理事長 浦上 克哉 先生
16:30	～	18:00	MMSE・HDS-R・物忘れ相談プログラム検査の 実習
2日目：平成 30年 7月 22日(日)			
9:00	～	9:30	ADAS検査総論 <b>Video</b> 鳥取大学医学部附属病院神経内科 鳥取県基幹型認知症疾患医療センター臨床心理士 浜田 実央 先生
9:30	～	10:30	ADAS検査の実習
10:30	～	10:40	休憩
10:40	～	11:10	TDAS検査総論 <b>Video</b> 鳥取大学医学部保健学科 生体制御学講座助教 河月 稔 先生
11:10	～	12:10	TDAS検査の実習
12:10	～	13:00	休憩・昼食
13:00	～	14:50	その他の簡易スクリーニング検査総論 <b>Video</b> ～道路交通法改正もふまえて～ 講義途中に体験実習あり NPO高齢者安全運転支援研究会 中村 拓司 先生
14:50	～		修了証の授与・解散

3. 共催

日本認知症予防学会

4. 後援

厚生労働省

一般社団法人 日本病院会

## 第2回認知症対応力向上講習会B 申込み書

会員番号	
施設名	
所属	
氏名	
氏名(カナ)	
性別	1. 男性 2. 女性
電話番号(日中連絡の取れる)	
E-mail(携帯不可)	
認定認知症領域検査技師資格	1. 有り 2. 無し 3. 取得予定
認定認知症領域検査技師制度の講習会受講歴	1. 有り 2. 無し 3. 受講予定
検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会受講歴	1. 有り 2. 無し
備考(問合せ等)	